

## 令和元年度 宮島観光学入門（英語）講座

令和元年度の「宮島観光学入門（英語）」（全学共通教育科目・一年次集中講義）を実施しました。今年度は4名の学生が履修しました。加えて、国際文化学科4年生1名と大学院生1名が聴講してガイドに参加しました。また、昨年この授業を履修した国際文化学科2年生の堀尾珠里花さんと、宮島観光親善大使として活躍する国際文化学科3年生の森梨香子さんが、後輩をサポートしました。リチャード・ウェーバー先生から宮島の歴史や文化、外国人観光客に対するガイドのノウハウについて学びました。

11月24日に、学生は2つのグループに分かれ、ガイド実践を行いました。宮島の商店街の出口付近、石鳥居の前で待機し、オーストラリア、ギリシャ、中国、ドイツ、フィリピン、フィンランド、レバノン等の観光客を巖島神社出口まで英語で案内しました。今年度はとくに、大鳥居の修理工事が行われているため、大鳥居の写真やイラストを用意して、解説しました。



巖島神社高舞台前での様子

現地ガイドに参加した学生からは「ガイドを通して、多くの外国人と話せるチャンスを得ることができたので、宮島の歴史だけではなく、英語の学習にもなった。授業は終わってしまいましたが、自主的にガイドをやりたいと思った。」「広島でずっと暮らしていても、宮島の歴史や建物について知らないことが多くあったので、宮島を知る良い機会になりました。」などの声が聞かれました。